

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 ジオマテック株式会社

コード番号 6907 URL <http://www.geomatec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松崎 建太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 中村 和正

TEL 045-222-5720

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,096	5.7	884	△15.0	927	△12.0	735	△29.8
23年3月期第3四半期	6,716	23.5	1,040	—	1,054	—	1,047	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 654百万円 (△27.2%) 23年3月期第3四半期 898百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	87.72	—
23年3月期第3四半期	124.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	24,790	16,324	65.8
23年3月期	24,427	15,921	65.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 16,324百万円 23年3月期 15,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,100	1.4	900	△30.3	930	△29.0	750	△8.4	89.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	9,152,400 株	23年3月期	9,152,400 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	769,732 株	23年3月期	769,732 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	8,382,668 株	23年3月期3Q	8,382,708 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 四半期連結貸借対照表に関する注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に伴う持ち直しの動きがみられたものの、昨年10月に発生したタイの洪水による影響や、欧州諸国の金融・財政問題の深刻化に伴う円高の進行、欧米先進国で景気減速感が強まるなど期後半にかけて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ（FPD）市場において、スマートフォンの好調な販売に支えられ、液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜を中心に概ね堅調に推移していましたが、スマートフォン市場においてメーカー・機種による販売数量の優劣が顕著化していること、また、タイの洪水により一部電子部品の生産に滞りが見られたことから、液晶パネルメーカー及びタッチパネルメーカーにおいて生産計画の見直しが発生するなど期後半にかけて減速傾向で推移いたしました。

この結果、売上高は70億96百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。損益につきましては、売上高の増加はあったものの、静電容量タッチパネル向け外注加工費や新規設備投資による償却費の増加など、製造原価が増加したことから営業利益は8億84百万円（前年同四半期比15.0%減）、経常利益は9億27百万円（前年同四半期比12.0%減）となりました。四半期純利益は、東日本大震災後に発生した余震による損失額1億27百万円と、株価低迷による投資有価証券評価損34百万円を特別損失として計上したことなどから7億35百万円（前年同四半期比29.8%減）となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。なお、当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、品目別に記載しております。

（FPD用基板）

FPD用基板につきましては、液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜がスマートフォンの販売伸長により期前半は概ね堅調に推移いたしましたが、第3四半期連結会計期間（10～12月）は、液晶パネルメーカーやタッチパネルメーカーの生産調整の影響を受け受注が減少したことから鈍化いたしました。

この結果、売上高は53億70百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。

（光学機器用部品）

光学機器用部品につきましては、プロジェクター用光学機器部品を中心に販売活動に取り組みましたが、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は7億60百万円（前年同四半期比31.0%減）となりました。

（その他）

その他につきましては、樹脂基板向け薄膜やマスクブランクス向け薄膜などとともに、その他薄膜製品の販売活動に取り組みました。

この結果、売上高は9億66百万円（前年同四半期比45.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態を前連結会計年度末と比較すると、総資産が3億63百万円、純資産が4億2百万円それぞれ増加し、自己資本比率は65.8%となりました。

増減の主なもの、流動資産では現金及び預金が9億78百万円減少し、受取手形及び売掛金が11億2百万円増加しました。流動負債では支払手形及び買掛金が6億67百万円増加し、固定負債では長期借入金が5億78百万円減少、純資産では利益剰余金が4億83百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績に最も大きな影響を与えるスマートフォン市場は、全体として好調に推移していましたが、メーカー・機種による販売数量の優劣が顕著化していることや、タイの洪水の影響により、各社製品において生産計画が見直され、特定機種向け以外の液晶パネル及びタッチパネルでは減産が実施されております。

この影響により、タッチパネル用透明導電膜及び液晶パネル用帯電防止膜の受注が当初見込みを下回る結果となり、また、第4四半期についても受注増加が見込めない状況であることから、平成24年2月1日付で通期連結業績予想の修正を行っております。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,399,826	6,421,170
受取手形及び売掛金	※ 6,632,639	※ 7,735,355
有価証券	752,693	752,726
商品及び製品	115,459	179,443
仕掛品	※ 322,383	※ 446,038
原材料及び貯蔵品	※ 727,577	※ 769,108
その他	118,011	142,139
貸倒引当金	△2,196	△2,264
流動資産合計	16,066,394	16,443,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,815,302	1,687,180
機械装置及び運搬具（純額）	2,169,132	1,998,505
土地	2,396,393	2,396,393
その他（純額）	370,844	742,327
有形固定資産合計	6,751,672	6,824,408
無形固定資産	44,290	40,317
投資その他の資産		
投資有価証券	776,835	707,409
その他	789,876	775,223
貸倒引当金	△1,894	△778
投資その他の資産合計	1,564,818	1,481,855
固定資産合計	8,360,781	8,346,581
資産合計	24,427,176	24,790,298

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 4,346,007	※ 5,013,202
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	775,508	770,408
未払法人税等	32,141	17,966
賞与引当金	197,589	96,802
役員賞与引当金	12,000	—
災害損失引当金	—	13,917
その他	757,184	733,325
流動負債合計	6,170,431	6,695,622
固定負債		
長期借入金	1,825,929	1,247,523
退職給付引当金	234,292	248,463
役員退職慰労引当金	252,095	252,095
その他	22,651	22,237
固定負債合計	2,334,968	1,770,319
負債合計	8,505,399	8,465,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,043,850	4,043,850
資本剰余金	8,297,350	8,297,350
利益剰余金	4,635,016	5,118,882
自己株式	△811,124	△811,124
株主資本合計	16,165,091	16,648,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,108	△10,031
為替換算調整勘定	△267,423	△314,569
その他の包括利益累計額合計	△243,314	△324,601
純資産合計	15,921,777	16,324,357
負債純資産合計	24,427,176	24,790,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,716,986	7,096,545
売上原価	4,404,561	4,939,609
売上総利益	2,312,424	2,156,935
販売費及び一般管理費	1,271,816	1,272,763
営業利益	1,040,608	884,171
営業外収益		
受取利息	22,797	20,640
受取配当金	8,544	7,880
不動産賃貸料	26,496	19,412
助成金収入	—	12,704
その他	25,063	34,347
営業外収益合計	82,902	94,985
営業外費用		
支払利息	21,620	20,990
為替差損	28,834	13,224
不動産賃貸費用	11,728	11,889
その他	6,667	5,315
営業外費用合計	68,851	51,420
経常利益	1,054,659	927,736
特別利益		
貸倒引当金戻入額	642	—
固定資産売却益	7,765	2,999
特別利益合計	8,407	2,999
特別損失		
災害による損失	—	127,965
投資有価証券評価損	—	34,727
固定資産処分損	920	2,145
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,574	—
特別損失合計	19,495	164,839
税金等調整前四半期純利益	1,043,572	765,897
法人税、住民税及び事業税	8,332	8,025
法人税等調整額	△12,435	22,525
法人税等合計	△4,102	30,550
少数株主損益調整前四半期純利益	1,047,674	735,346
四半期純利益	1,047,674	735,346

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,047,674	735,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,011	△34,140
為替換算調整勘定	△128,675	△47,145
その他の包括利益合計	△148,687	△81,286
四半期包括利益	898,987	654,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	898,987	654,060
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 四半期連結貸借対照表に関する注記

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
※ 取引先からの有償支給材料に係る代金相当額が次の科目に含まれております。なお、有償支給材料代金は、「売上高」及び「売上原価」から控除して表示しております。	※ 取引先からの有償支給材料に係る代金相当額が次の科目に含まれております。なお、有償支給材料代金は、「売上高」及び「売上原価」から控除して表示しております。
売掛金 3,326,653千円	売掛金 4,109,490千円
仕掛品 105,035千円	仕掛品 188,520千円
原材料 110,701千円	原材料 59,777千円
買掛金 3,553,176千円	買掛金 4,370,203千円